

シネマサウンド の 最進化形

東宝スタジオ ダビングステージ 1

国内最大級のイマーシブサウンド対応ステージ誕生

ワーナー・ブラザーズスタジオの協力を得て、チャールズ・M・ソルター・アソシエイツの音響設計で作られたダビングステージ 1 がハイパフォーマンスな音響ステージに生まれ変わりました。

コンソールは国内初となる構成、デュアルヘッド72フェーダー「Avid ProTools | S6」と東宝スタジオのシネマサウンドを作ってきた「AMS Neve DFC GeMiNi」のハイブリッドシステムを導入。音場は、天井高10.5mに天井2列18本、両サイド各9本、リア6本の合計42本のスピーカー、サラウンド用サブウーハー4本で構成し、CMA（クリティカルミキシングエリア）も最大化しています。従来の5.1ch・7.1chに加え、立体感のある音場を生み出すオブジェクトベースの音響フォーマット、Dolby Atmos のミックスが行えるようになりました。

また、IMAX® Corporation の「クリエイターズファースト」の理念のもと、IMAX 認定を受けた2つのダビングステージにて東宝配給作品をはじめとする日本映画のIMAX 独自の5チャンネル音響ミックスの制作に取り組んできました。この度アップグレードされた新スタジオでは、日本国内では実現できなかったIMAX 12チャンネル音響ミックスの制作も可能となり、IMAX でしか体験できない、より没入感の高い音響体験を実現することも可能となりました。

イマーシブサウンドへのアップコンバートから、ラージフォーマットマスター制作まで、皆様のさまざまなご要望に最高のパフォーマンスを提供します。

TOHO POST-PRODUCTION CENTER

TOHO スタジオ株式会社 ポストプロセンター

住所 〒157-8561
東京都世田谷区成城1丁目4番1号

電話 03-3749-2115

FAX 03-3749-4114



TOHO
STUDIOS

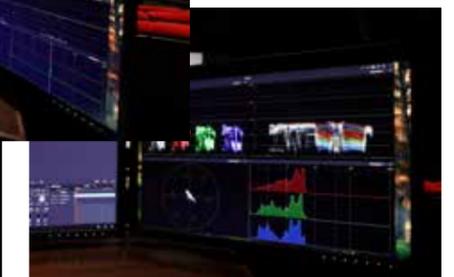


Dolby Vision® と Dolby Atmos® が共存する ポストプロ センター誕生

試写室 SCREENING ROOM

広さ188㎡、高さ5.5mの大空間に8.3m×3.4mのスチューアート製「ウルトラマット130」を完備。完全水平映写による歪みのないクリアな映像の確認が行えます。既存の4Kシネマプロジェクターに加え、ドルビービジョン対応の4Kシネマレーザープロジェクターが設置されドルビービジョンのカラーグレーディング作業が可能。

DCP 試写だけでなくデータファイルでの試写、プレミアムなドルビービジョン+アトモス作品までの検定試写と、あらゆる映像の上映用途で最高のリファレンスを提供します。



- ・Dolby Vision カラーグレーディング
- ・デジタルシネマパッケージ (DCP) マスタリング

業界標準のDaVinci Resolveと専用ミニパネルを導入。Dolby Vision 規格に基づき厳密にキャリブレーションされた環境で最終グレーディングを行うことで、制作意図通りの最高品質の映像美を実現します。また、興行用マスターDCP作成（ラージフォーマット含む）も豊富な経験をもとに安全確実にご提供します。

イメージミキシングと
グレーディング、そして
クオリティチェックまでを
ワンストップ